

生物多様性広報・参画推進委員会の検討を踏まえて、生物多様性をより端的にわかりやすく表現するコミュニケーションワードが、

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性

に 2008 年 11 月 21 日に決定しました。

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。地球上には、それぞれの環境に適応した 3,000 万種ともいわれる多様な個性を持つ生きものがおり、お互いにつながりあい、支えあって生きています。私たち人間もその一部です。

地球の歴史上 6 度目の大量絶滅の危機といわれている現在、かつてないスピードで生物多様性が失われています。この大量絶滅から、絶妙なバランスで成り立っている生態系を守っていこう。また、未来への世代のために、現在の多様ないのちの豊かさを残していこう。「地球のいのち、つないでいこう」には、そうした思いを込めています。

今回決定したコミュニケーションワードを行政、企業、NGO、教育・学術など様々なフィールドの方々に使っていただき、生物多様性を育んでいくことを促していくことで、幅広い人々に生物多様性が伝わっていくようにしたいと考えています。

<環境政策とコミュニケーションワードの関係>

低炭素社会	みんなで止めよう温暖化 チーム・マイナス 6%
循環型社会	3R (リデュース、リユース、リサイクル)
自然共生社会 (生物多様性)	<u>地球のいのち、つないでいこう</u>

生物多様性とは？

■生命の個性は、地球の財産

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。地球上には、森、里、川、海などさまざまなタイプの自然の中に、それぞれの環境に適応して進化した 3,000 万種ともいわれる多様な個性を持つ生きものがいて、お互いにつながりあい、支えあって生きています。もちろん私たち人間もそのつながりの一部です。大気と水、食料や木材、地域の自然に根ざした文化、くらしの安全。生物多様性のたくさんの恵みが、私たち人間の「いのち」と「くらし」を支えているのです。

■生きものたちの SOS

今、多様な生きものたちが、地球の歴史上かつてない速度で絶滅しつつあります。開発などによる生態系の破壊、生活の変化に伴う里山里地の変化、外来種による生態系のかく乱、さらに近年では、地球温暖化の進行や化学物質汚染も絶滅のスピードを加速させています。このまま生物多様性が損なわれていくなら、生きものたちとの「いのちの連鎖」は断ち切れ、早晚私たち人間も「絶滅」してしまうかもしれません。

■もう一度、いのち豊かな地球へ

現代は、地球の歴史上、6度目の大量絶滅の時代といわれていますが、今回起きています大量絶滅は人為的な影響によるところもあり、それまでのものと性格が異なります。私たちの「いのち」と「くらし」を支えている生物多様性が、急速に失われつつあります。私たち人間がこれからも豊かに暮らしていくためにはまず、生物多様性の恵みに支えられ、生きものとのつながりの中で暮らしていることを認識すること。そして、その恵みに感謝し、持続可能な方法で利用することが必要です。絶滅をストップするために、今、行動することが求められています。

開催まであと2年、2010年10月 愛知・名古屋 COP10に向けて

2010年は、国連の定めた「国際生物多様性年」であり、COP6で採択された「締約国は現在の生物多様性の損失速度を2010年までに顕著に減少させる」という「2010年目標」の目標年にもあたります。生物多様性条約にとって節目となる重要な年に開催される COP10 は、地球の未来を考える上できわめて大切な意味を持つ国際会議になるといわれています。

- 開催期間 カルタヘナ議定書第5回締約国会合（COP/MOP5）：10/11（月）～15（金）
 生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）：18（月）～29（金）
 閣僚級会合：COPのうち27（水）～29（金）
- 開催場所 主会場：名古屋国際会議場（愛知県名古屋市熱田区）
- 参加規模 約7,000名（国連関係者、各国政府関係者、NGOなど）
- 主 催 生物多用性条約事務局（カナダ・モントリオール）
 ※開催国（日本政府）は議長国として協力